

○ 国際教育部門

・国際教育部門の平成 29 年度の活動記録は以下のとおりである。

【部門の活動・定例業務】

月	活動記録
4月	4月3-5日ー交換留学生オリエンテーション 4月3日ー交換留学継続生のためのガイダンス 4月5日ー外国人留学生新入生ガイダンス（写真1） チューターガイダンス
5月	5月2日ー日本語研修コース受講生学外研修旅行（川越） 5月17日ー海外留学説明会 5月24日ー海外ボランティア・TOEFL説明会
6月	6月1日ー阿見キャンパス留学交流室開設 6月2-4日ー日本語研修コース受講生のホームステイ 6月7日ーアラバマ大学バーミングハム校講師によるセミナー実施 6月21日ー海外留学サロン 日本語研修コース『茶道・華道体験』 6月27日ー水戸市の姉妹都市アナハイム市の学生親善大使との交流
7月	7月1-2日ー国際交流合宿研修 7月6日ー日本人学生と留学生の七夕会（阿見キャンパス留学交流室） 7月12日ー派遣留学生のための留学前ガイダンス 韓国仁済大学校学生・教員の本学訪問（講義及び懇談会実施） 7月19日ー交流室チューター交流会（水戸キャンパス・阿見キャンパス） 交換留学生向け帰国前ガイダンス（前学期） 7月22日ーオープンキャンパス「国際交流留学案内」 7月25-28日ー「留学生・日本人学生協働発表会」(Studies in Contemporary Japan, Japanese Pop Culture, 日本語研修コースレベル3口頭表現)
8月	8月9日ー高校生向けの公開講座「ちがいをたのしむー多文化共生へのはじめの一歩ー」
9月	9月21日ー学生交流促進のためのワークショップ（資料2-73） 9月24-26日ー日本語研修コースのオリエンテーション
10月	10月11日ー協定校派遣留学説明会 10月14日ー日本語研修コース茶道・華道体験 10月25日ー留学生、チューター、教職員のための国際交流パーティー 10月30日ー国際交流ハローウィンパーティー（阿見キャンパス） 10月28・30日ーブルネイ・ダルサラーム大学の学生との授業交流（別紙資料2-72）
11月	11月1日ー留学生のための就職説明会 11月11日ー留学生同窓会 11月18日ー公開講座「多文化共生ワークショップ」

	11月24日ー海外ボランティア・TOEFL説明会
12月	12月1日ーウィスコンシン州立大学スペリオル校との授業交流 12月1-3日ー日本語研修コース受講生ホームステイ 12月12日ー工学部新2年留学生と日立キャンパス交流室チューターの交流会（別紙資料2-71）
1月	1月31日ー海外派遣留学生のための危機管理ガイダンス 交換留学生向け帰国前ガイダンス（後学期）
2月	2月7日ー日本語研修コース受講生学外研修旅行（鹿島） 2月15日ー阿見・日立キャンパス向け海外留学危機管理セミナー
3月	3月30日ーサポート隊ガイダンス



新入生ガイダンス

② 部門の活動 [特色ある業務]



7月1-2日—国際交流合宿研修



11月11日茶道体験

【部門の活動・特色ある業務】

1. 新規協定校の開拓

- ① アイダホ州立大学（アメリカ）と大学間交流協定締結
本学とアイダホ州立大学（アメリカ）の間で大学間交流協定が締結された。本学学生の留学希望者の多い英語圏への派遣枠確保と、留学生の受け入れが期待できる。
- ② レンヌ第一大学（フランス）と部局間交流協定締結
本学の全学教育機構と人文社会科学部がフランスのレンヌ第一大学の経営大学院（IGR-IAE Rennes, Graduate School of Management）と部局間交流協定を締結した。本学学生の留学希望者の多いヨーロッパへの派遣枠確保と、留学生の受け入れが期待できる。
- ③ NASFA への参加
平成 29 年 5 月に世界中の国際交流担当が集結する NAFSA が開催され、本学協定校への挨拶や、新たに西欧諸国の大学とコンタクトを増やした。今後新規コンタクト先への短期語学研修を検討する。

2. 短期海外研修の企画及び実施

- ① 「短期海外研修 I II（スペイン）」の開講
基盤科目の多文化共生科目として「短期海外研修 I II（スペイン）」を開講した。スペイン・アルカラ大学において夏期短期語学研修が実施され、本学より 2 名の学生が参加した。
- ② 「短期海外研修 I II（ブルネイ）」の開講
基盤科目の多文化共生科目として「短期海外研修 I II（ブルネイ）」を平成 29 年度 8～9 月に開講した。ブルネイ・ダルサラーム大学において 4 週間にわたる英語研修が行われ、本学より 14 名の学生が参加した。
- ③ 「短期海外研修 I II（韓国）」の開講
基盤科目の多文化共生科目として「短期海外研修 I（韓国）」を開講し、本学から 10 名（学部生 8 名、大学院生 2 名）が研修に参加し、学部生 8 名が同科目を履修した。
- ④ 「短期海外研修 I II（マレーシア）」の開講
基盤科目の多文化共生科目として「短期海外研修 I II（マレーシア）」の開講を企画している。平成 29 年度 10 月より募集を開始し、3 月に 2 週間 5 名派遣した。
- ⑤ 「短期海外研修 I II（サンフランシスコ・ボランティア）」（30 年度実施予定）の開講を企画
平成 30 年度の基盤科目の多文化共生科目として「短期海外研修（サンフランシスコ・ボランティア）」の開講を企画し、実施計画が承認された。
- ⑥ 「短期海外研修 I II（オーストラリア）」（30 年度実施予定）の開講を企画
平成 30 年度の基盤科目の多文化共生科目として「短期海外研修（オーストラリア）」の開講を企画し、実施計画が承認された。

3. 協定校との教育交流

- ① ブルネイ・ダルサラーム大学との授業交流（別紙資料 2-71：P000）
ブルネイ・ダルサラーム大学で日本語授業を履修している学生と、日本語教育プログラム「日本語教授法Ⅰ」を履修する学生とのオンラインによる学生交流を行った。
- ② カナダ・サイモンフレーザー大学とのオンライン学生交流を企画
サイモンフレーザー大学の日本語授業を履修している学生と、基盤科目の『多文化共生』科目を履修している学生とのオンラインによる学生交流を企画し、平成 29 年後期 1～2 月に実施した。
- ③ ウィスコンシン州立大学スペリオール校との授業交流
ウィスコンシン州立大学スペリオール校で日本語授業を履修している学生と、日本語教育プログラム「日本語教授法Ⅰ」を履修する学生とのオンラインによる学生交流を平成 29 年度 12 月に実施した。



ウィスコンシン大学スペリオール校の学生と、本学の日本語教育プログラム受講学生とのオンライン交流会

【関連イベント報告】

①小中学校・高等学校への留学生の派遣

今年度は、以下の県内各校に留学生を派遣し、地域の中学生・高校生と本学留学生との異文化交流を図った。特に、12月20日の県立水戸高等特別支援学校への事前学習は同校が海外への修学旅行を初めて企画するにあたり、その事前学習として派遣依頼されたもので、新聞等マスコミにも報道された。

- ・9月8日・13日茨城大学教育学部附属中学校（各5名派遣）
- ・10月11日県立桜の牧高等学校（4名派遣）
- ・11月13日龍ヶ崎市立八原小学校（13名派遣）
- ・12月13日県立桜の牧高等学校城北校（7名派遣）
- ・12月20日に水戸高等特別支援学校（2名派遣）

- ・12月21日茨城大学教育学部附属中学校（15名派遣）
- ・1月16・17日県立水戸第一高等学校（2日×16名派遣）
- ・1月24日に県立桜の牧高等学校城北校（7名派遣）
- ・1月26日に茨城大学教育学部附属中学校（10名派遣）、

②留学生・日本人学生協働発表会の実施

平成29年7月25日～28日、本学図書館展示室において「留学生・日本人学生協働発表会」を実施した。発表会では、基盤科目「Studies in Contemporary Japan」及び「Japanese Pop Culture」を履修する留学生・日本人学生が協働で日本の社会問題や文化について発表を行った他、日本語研修コースレベル3（口頭表現）・レベル4（総合）を履修する留学生が発表を行った。発表の他、展示室には協定校との交換留学プログラム、海外研修プログラム、本学で学ぶ留学生の母国・地域などを紹介するパネル約20点を展示し、本学の国際交流について学内外に取り組みを紹介した。



③学生交流促進のためのワークショップ（資料2-73：P000）

平成29年9月21日、阿見キャンパスにおいて、学生交流促進のためのワークショップを行った。ワークショップには、6名の日本人学生が参加した。後学期には参加した学生が中心となり、海外留学派遣予定学生・受入学生の交流を目指したおしゃべり型の日本語学習支援の授業が阿見キャンパスにて開講されている。

④協定校から講師を迎えてのセミナー開催

平成29年度6月7日（水）に協定校である米国アラバマ大学バーミングハム校にて日本語を担当されている高宮優実講師を迎え、全学教育機構グローバル化推進セミナーを開催した。「アメリ

カにおける日本語教育」と題し、日本語教育プログラム受講学生を中心に、現地での実践経験のある講師よりアメリカで日本語を教えるために必要な表現・スキル・手法を学んだ。

⑤ 学生国際会議の開催

平成 29 年 11 月 18・19 日、水戸キャンパスおよび水戸国際交流センターを会場に本学学生による第 13 回茨城学生国際会議が開催された。会議には、2 日間で茨城大学の学生・留学生のほか、県内の高校生を含む 151 名が参加。インドネシアのガジャ・マダ大学研究科長による講演のほか、学生等による学術発表がすべて英語で行われた。また、昨年を引き続き、2 日目の午後に水戸市内エクスカージョンを企画。弘道館ツアーでは、水戸観光コンベンション協会にご協力いただき、市民観光ボランティアによる英語での説明が行われ、高校生・留学生を含む参加者 57 名は弘道館の歴史と文化を楽しんだ。その後、参加者は、水戸市国際交流協会にて、本学学生のボランティアによる書道・茶道・けん玉のブースにて実際に日本文化を体験した。

⑦ 日本語教育プログラム「日本語教授法演習(海外)」

今年度より全学教育機構のプログラムとなった「日本語教育プログラム」の最終科目である「日本語教授法演習(海外)」の実施校にウィスコンシン州立大学、アイダホ州立大学、レンヌ第一大学が加わった。また、同科目は「海外協定校におけるインターンシップ型日本語教師養成プログラム」として日本学生支援機構の海外留学支援制度（協定派遣）短期研修・研究型（タイプ A）に採択され、平成 30 年度には 3 名が派遣される予定である。

[資料：留学生向け日本語教育（単位なし）]

前期

科目名	担当者	開講地区	担当回数	開講回数
日本語レベル 1（総合）	青木香代子	水戸	15	15
日本語レベル 1（総合）	青木香代子	水戸	15	15
日本語レベル 1（総合）	青木香代子	水戸	15	15
日本語レベル 1（総合）	池田庸子	水戸	15	15
日本語レベル 1（総合）	非常勤	水戸	15	15
日本語レベル 1（総合）	非常勤	水戸	15	15
日本語レベル 2（総合）	池田庸子	水戸	15	15
日本語レベル 2（総合）	池田庸子	水戸	15	15
日本語レベル 2（総合）	青木香代子	水戸	15	15
日本語レベル 2（総合）	非常勤	水戸	15	15
日本語レベル 2（読み書き）	池田庸子	水戸	15	15
日本語レベル 3（総合）	八若壽美子	水戸	15	15
日本語レベル 3（総合）	八若壽美子	水戸	15	15
日本語レベル 3（総合）	青木香代子	水戸	15	15

日本語レベル3 (総合)	青木香代子	水戸	15	15
日本語レベル3 (口頭表現)	八若壽美子	水戸	15	15
日本語レベル3 (漢字)	安龍洙	水戸	15	15
日本語レベル4 (総合)	瀬尾匡輝	水戸	15	15
日本語レベル4 (総合)	非常勤	水戸	15	15
日本語レベル4 (口頭表現)	非常勤	水戸	15	15
日本語レベル4 (漢字)	非常勤	水戸	15	15
日本語レベル5 (総合)	安龍洙	水戸	15	15
日本語レベル5 (総合)	非常勤	水戸	15	15
日本語レベル5 (漢字)	非常勤	水戸	15	15
日本事情	安龍洙	水戸	15	15
日本語入門	瀬尾匡輝	阿見	10	10
初級日本語	瀬尾匡輝	阿見	10	10
日本語中級	瀬尾匡輝	阿見	10	10
論文作成	瀬尾匡輝	阿見	10	10
非漢字圏の人のための漢字	瀬尾匡輝	阿見	10	10

後期

科目名	担当者	開講地区	担当回数	開講回数
日本語レベル1 (総合)	青木香代子	水戸	15	15
日本語レベル1 (総合)	青木香代子	水戸	15	15
日本語レベル1 (総合)	池田庸子	水戸	15	15
日本語レベル1 (総合)	八若壽美子	水戸	15	15
日本語レベル1 (総合)	非常勤	水戸	15	15
日本語レベル1 (総合)	非常勤	水戸	15	15
日本語レベル3 (総合)	八若壽美子	水戸	15	15
日本語レベル3 (総合)	八若壽美子	水戸	15	15
日本語レベル3 (総合)	青木香代子	水戸	15	15
日本語レベル3 (総合)	池田庸子	水戸	15	15
日本語レベル3 (漢字)	安龍洙	水戸	15	15
日本語レベル4 (総合)	瀬尾匡輝	水戸	15	15
日本語レベル4 (総合)	非常勤	水戸	15	15
日本語レベル4 (口頭表現)	非常勤	水戸	15	15
日本語レベル4 (漢字)	非常勤	水戸	15	15
日本語レベル5 (総合)	安龍洙	水戸	15	15
日本語レベル5 (総合)	非常勤	水戸	15	15
日本事情	安龍洙	水戸	15	15

② 部門の活動 [特色ある業務]

日本研究	安龍洙	水戸	15	15
多読で学ぶ日本語	池田庸子	水戸	15	15
日本語入門	瀬尾匡輝	阿見	10	10
初級日本語 II	瀬尾匡輝	阿見	10	10
アカデミック・ジャパニーズ	瀬尾匡輝	阿見	10	10
日本語会話	瀬尾匡輝	阿見	10	10